



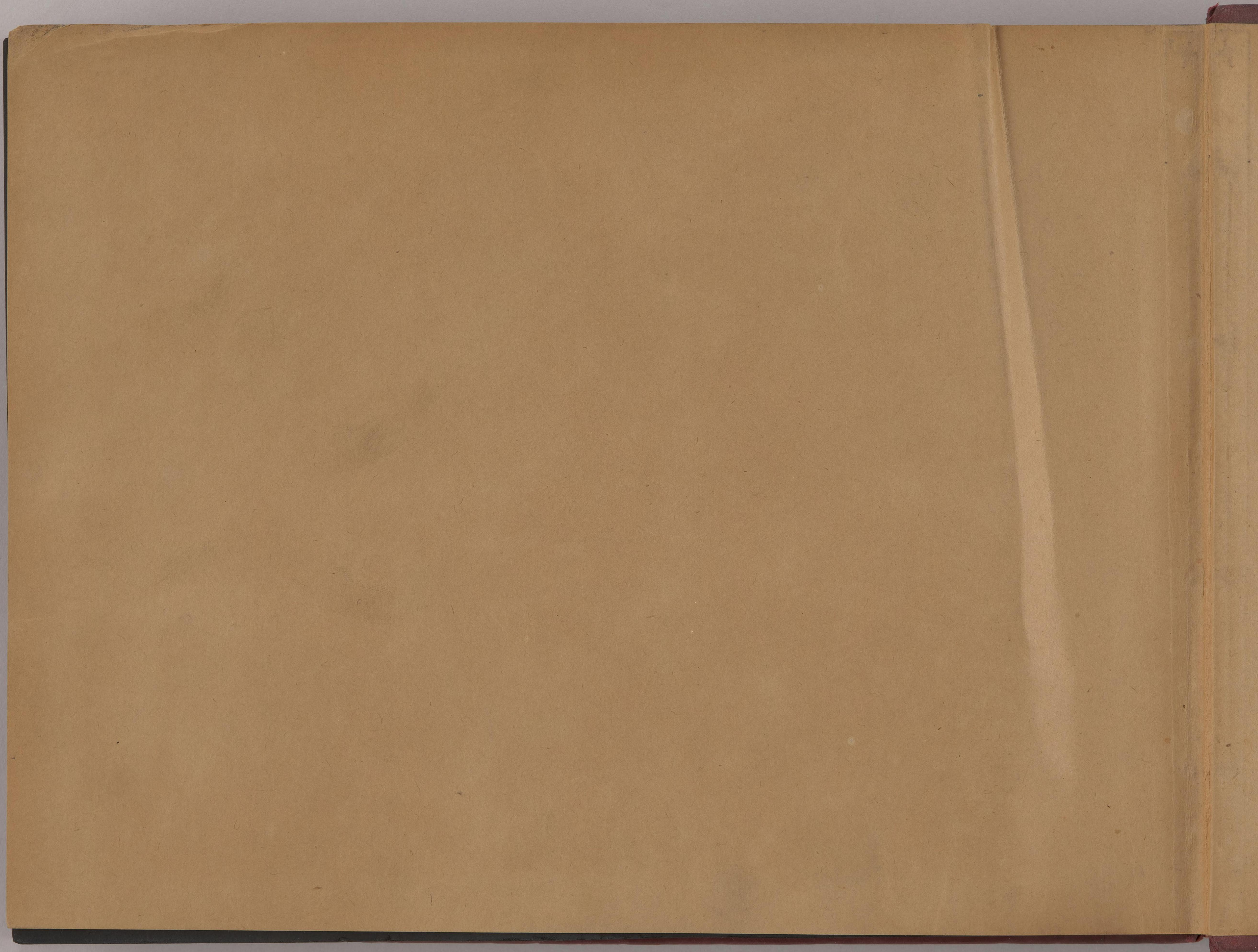
1201100594291

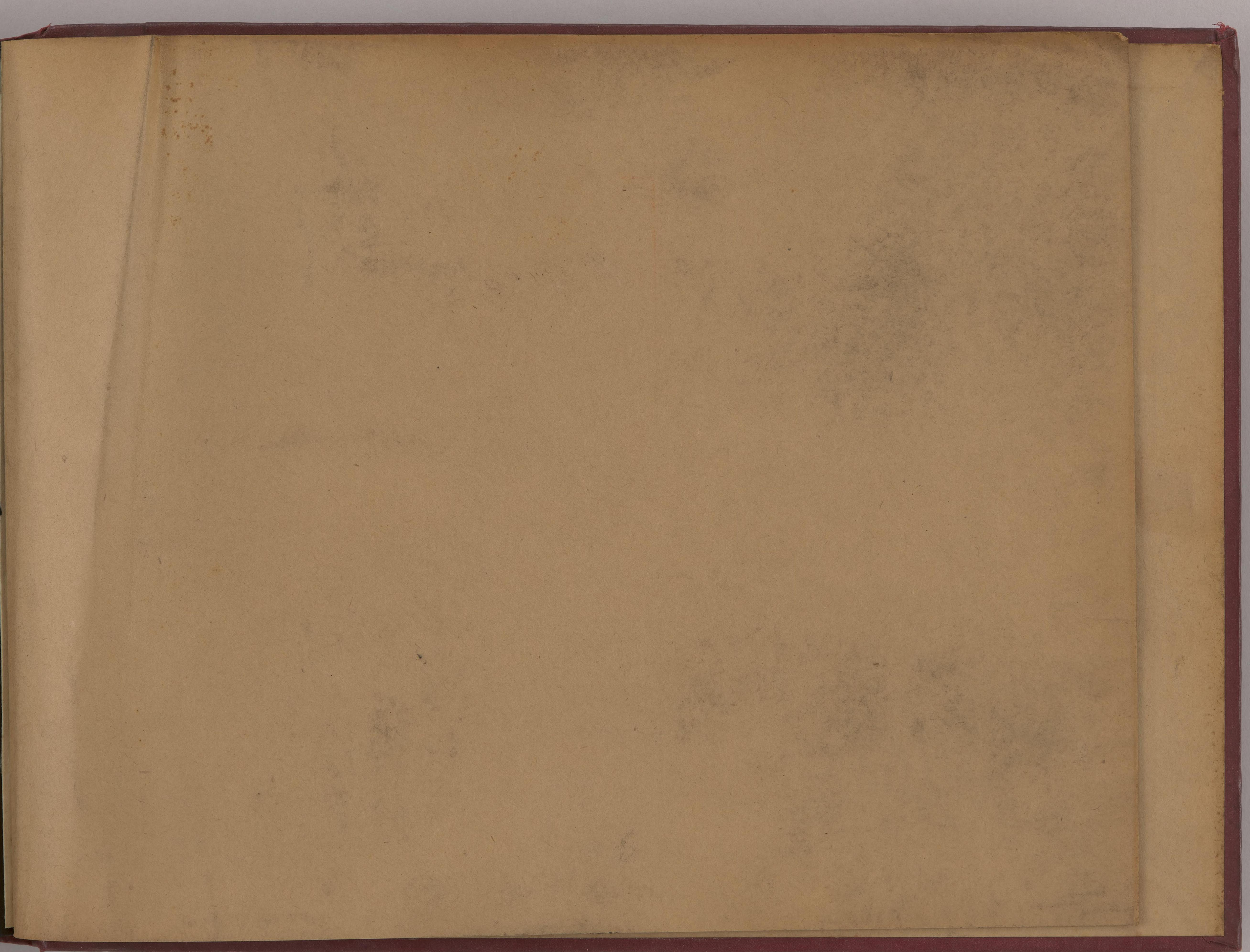


禁電子式複写









新聞聯合

寫真二工一入

昭和八年十一月

品目換



◎神宮鎮座記念祭

十一月一日は明治神宮鎮座記念祭、同三日は例祭竝に明治節祭典が行はれるので明治神宮では一日より三日迄毎夜十時迄夜間參拜を許し各參道に篝火を配置する、尙奉祝催物としては一日より三日間毎夜六時半より南北兩參道入口廣場で活動寫眞を映寫し晝夜代々木練兵場及外苑で奉祝煙火を打揚げ、一日より十六日迄奉納の菊花を各所に陳列する

寫眞は

一、神宮參道



聯合

運動寫真

八年十一月一日

◎神宮競技大會

一、劍道青年團愛知對德島（左）岡山對鳥取（右）



聯合 寫眞 第二號 八年十一月二日

◎司令長官等軍狀奏上

來る十五日頃發表される海軍定期進級決定の進級會議に召集された小林聯合末次第二各艦隊司令長官、野村橫須賀、中村吳、左近司、佐世保鎮守府各司令長官、百武舞鶴、鹽澤鎮海、大野大湊、山内馬公各要港部司令官（今村第三艦隊司令長官、枝原旅順要港部司令官不參）は二日午前十時打揃つて參内、表謁見所に進み大角海相、本庄武官長等侍立の上天皇陛下に拜謁仰付られそれぞれ管下の軍狀を奏上御前を退出正午霞ヶ關離宮に於ける伏見軍令部總長官殿下の午餐會に參列した

寫眞は

一、司令長官參内（向つて左から）小林、野村、大角、鹽澤、末次、百武、左近司、大野、山内の各將官（於御車寄）



聯合 寫眞 第三號 十一月二日

◎ 聖上朝香宮邸行幸

朝香宮允子内親王殿下には依然として憂慮申
上くべき御容態を續けさせられてゐるので、
聖上陛下には深く御軫念遊はされ二日午前九
時略式自動車幽薄にて呂城御出門、芝白金町
の朝香宮邸に行幸、親しく御見舞の上同九時
四十分還幸遊はされた
寫眞は

一、朝香宮邸へ行幸



聯合 寫眞 第一號 八年十一月三日

◎明治神宮御祭典

畏き邊りでは三日明治神宮御例祭につき豫て
勅使として掌典小出英延子を参向仰付けられ
たが朝香宮姫殿下亮去遊ばされたので勅使御
差遣は御取止めあらせられたが明治神宮では
有馬宮司、秋岡權宮司以下神職着床して午前
八時嚴かな御例祭を、同十一時明治節祭を執
行された。當日寢火其他の御催しは御遠慮申
上げたるも朝來参拜者はひきも切らなかつた
寫眞は

参拜者に賑ふ神宮と各大臣の参拜



明治神宮御祭典

各大臣の参拜



聯合 寫眞 第一號 八年十一月四日

◎藏相の愛孫も巢立ち

「お茶の水花嫁學校卒業式」

「花嫁學好」お茶の水の家庭寮は四日午後一時から第三回卒業式を舉行、美しい花嫁さんの候補者一〇四名を送り出した、その中には高橋藏相の愛孫高橋美代子（一九）さん、床次竹二郎氏の令姪敏子さん（二〇）後藤藏相の令姪河野よし子さん、木村拓務參與官の令姪莊司禮子さん（一九）達が名前を並べてゐる、式は證書授與に次いで島津寮長の式辭、來賓父兄の祝辭、卒業生の謝辭といふ順序で二時半閉會それから稀音家四郎助氏指導の下に卒業生の長唄「越後獅子」の演奏があり終つてからみんなでお茶の席を設けるなど和やかな卒業式風景だつた

寫眞は

「高橋藏相愛孫（唄）清浦益三愛孫悠紀子（三味線）」



聯合 烏真 第二號 十一月四日

◎日銀總裁榮氏招待

日本銀行では四日正午より日銀樓上に於て
朝中の滿洲國中央銀行總裁榮厚氏一行を主賓
として財界の諸氏を招待して歓迎會を開き日
滿經濟につき種々懇談した

烏真は

一、榮厚總裁（左）と土方總裁（右）



聯合 寫眞 第一號

十一月五日

△全國珠算選手權大會

專修大學計理研究會主催第三回珠算選手權大會は五日午前九時から同校講堂に於て開かれ全國から集つた三百余名の内にはうら若い女性三十余名の參加者あり接戦火花を散らせた
寫眞 選手權競技大會



聯合 寫眞 第三號 八月二十五日

◎スポーツ外交使節一行歸朝

陸上日本を代表して米各地に轉戦スポーツ
外交の實を述べた住吉、野井兩監督以下大嶋
大江、朝隅、藤枝の六選手は五日午前八時横
濱入港の太平洋丸で歸朝。陸軍儀仗隊支那の歓迎
會に臨み午後一時四十分横濱驛發の列車で入
京。二重橋前、明治神宮寺を參拜した。

西二五 東京驛にて向つて右かきり
大嶋、野井、住吉、大江、朝隅
陽の詰



聯合 寫眞 第一號

十一月六日

◎中等學生六萬の分列式

東京府主催都下中等學校生徒六萬人の分列式は秋雨を衝いて六日午前九時代々木原頭に行はれた、雨天のため秩父宮殿下の御親閲は取止めとなつたが荒木陸相、鳩山文相の巡閲を受け香坂知事の訓示、荒木、鳩山兩相の祝辭等あり十一時三十五分解散した

寫眞は分列式



聯合 寫眞 第二號 八年十一月六日

◎セン・片山露都に逝く
―露國で盛大な國葬―

日本左翼運動の元老にてコミンテルン執行委員會幹部としてコミンテルンの中に重きをなしてゐた片山潛氏は豫て心臓を患ひ南露に保養し最近モスコゝまで歸つてゐたが五日宿舎ルファクスに於て老衰を死因として死去した、享年七十五、コミンテルン及びロシア共産黨はこの死に對して深甚なる弔意を表してをり近く盛んなる國葬が執行される筈である

一寫眞は片山潛氏の最近像と、氏の老友山崎今朝彌氏への近信

◎坂本凱旋將軍

一 召されて帝都入り

九州健兒を率ゐて熱河、北支の征戰に武勳を
樹てた第六師團長坂本政右衛門中將は長き邊
りのお召しにより七日朝凱旋將軍の名も輝し
く佐々木參謀長以下の幕僚を從へて堂々帝都
入りを爲し宮内省差廻しの自動車で直ちに參
内、天皇陛下に拜謁仰付られ具さに軍狀奏上
を爲し御前を退下した

寫眞は

一 出迎への荒木陸相と交疊

一 先頭自動車坂本師團長（於東京驛前）



聯合 寫眞 第二號 十一月七日

◎對內國策六相會議

内政問題に關する閣僚會議は七日の閣議終了後第一回を開催したが、この顔觸れは後藤農相、山本内相、永井拓相、中島商相、高橋藏相に齋藤首相を加へた六相會議の形となり後藤農相を中心として農村問題の討議に入つたが陸相にも内政問題につき種々抱懷せる意見を述べたものの如くである

寫眞は

一、六相會議に出席の閣僚（向つて左から）山本内相、後藤農相、高橋藏相、中島商相、永井拓相（首相官邸にて）



寫眞 第二號

十一月八日

◎高須判士長明治神宮參拜

Ⅱ斷罪の案を胸底に秘めて

歴史的な五・一五事件の海軍側判決も愈々明日に迫つた八日の午前七時三十分、明治神宮内苑大鳥居前に自動車から降り立つた制服の海軍將校があつた。見れば明日の大公判に判決を下すべき當の判士長高須四郎大佐である。愈々公判明日に迫り胸底に斷罪の案を秘めて明治神宮參拜のため七日夜刻二ヶ月振り始めて外出して霞町一番地の我が家に歸り一夜を明かしてけさ參拜に來たのであつた。

寫眞は

一神宮參拜の高須判士長



聯合 寫眞 第五號 十一月八日

◎上原元帥にお見舞ひ

重態の上原元帥は一時小康状態を保つたが八日に至り殆んど絶望状態となつたので天皇。皇后兩陛下にはこの趣きを聞召され八日午前十一時半御使ひを大井町鹿島谷の同元帥邸に差遣はされ病氣お尋ねとして葡萄酒一ダースを下賜あらせられた

寫眞は

一、元帥邸にて



聯合 寫眞 第一號 十一月九日

◎五。一五海軍側斷罪の日

滿天下の耳目を聳動せしめた海軍側五。一五事件の被告に對する斷罪の日、九日午前九時横須賀軍法會議は開廷された。高須判士長以下五判士、高法務官、山本檢察官、特別辯護人出廷、古賀清志中尉等被告に對し嚴肅裡に高須判士長より判決の言渡しがあつた（詳細記事參照）

寫眞は

- 一、護送自動車海軍刑務所を出づ
- 一、傍聽人の抽籤（三笠會館にて）
- 一、被告家族と辯護人喜びの會食（食卓手前右より）福田、稻本、清瀬各辯護人（同正面向き右より）山岸多喜子、朝田大尉村山房子、塚崎辯護人、横須賀水交社にて
- 一、高須判士長以下海相に報告（海軍大臣室にて）



一高須翁士長以下海相に報告（海軍大臣室にて）

傍聴人の抽籤





聯合 寫眞 第一號 八年十一月十日

◎十七教化事業團體へ賜金

「精神作興十周年に際し」

畏き邊りでは常に社會教育事業に大御心を注
がせられつゝあるが十日國民精神作興詔書煥
發十周年記念日に際し十七社會教化事業團體
に對して社會教育御獎勵の思召を以て總額二
十萬圓下賜の御沙汰あり、松井茂中央教化團
體聯合會理事以下各代表は關屋文部省社會教
育局長に伴はれ午前十一時宮内省に出頭湯淺
宮相より拜受一同東御車寄にて御禮記帳の上
感激して退下した、尙中央教化團體聯合會で
は其の御下賜金を更に各地方教化團體に分配
傳達の手續きをとつた

寫眞は

一 御下賜金拜受（御車寄にて）



一
御
下
賜
金
拜
受
（
御
車
寄
に
て
）

聯合 寫眞 第二號 十一月十日

◎精神作興詔書十周年記念式

外苑青年館での盛會

國民精神作興詔書頒發十周年記念式典は中央
教化團體聯合會主催の下に十日午前九時明治
神宮外苑日本青年館で盛大に舉行された、會
長齋藤首相始め常務理事松井茂、理事加藤咄
堂及び潮内務、栗屋文部兩次官、香坂府知事
及來賓として山本内相、湯淺宮相、鳩山文相
後藤長相、河合、鎌田兩樞府顧問官、一本前
宮相、田中前文相、各神道佛教の管長等臨席
全國より各教化團體代表、各府縣代表、在郷
軍人會代表、教育會代表、青訓代表、婦人會
代表、男女青年團代表等約一千名參會盛會を
極めた

寫眞は

齋藤首相の御姿

一、齋藤會長の詔書捧讀



一、齋藤會長の詔書捧讀

聯合 寫眞 第一號 八年十一月十一日

◎支那古代刑法學の權威

一 董康氏一行入京

支那古代刑法學講演のため我が中華民國法制
研究會に依つて招聘された支那古代刑法學の
權威中華民國元司法總長現東京吳大學教授董康
氏一行は十一日午前八時半東京驛着入京驛頭
には同研究會の松本蒸治博士、田中東大、瀧
川中大各教授其他法曹團多數が出迎へた、一
行は麴町平河町の萬平ホテルに入り少憩、同
十一時 官邸に小山法相、皆川次官を訪問會
談の後支那公使館、原嘉道、平沼騏一郎、穗
積重遠、志田鐮太郎各氏を訪問挨拶をなした

寫眞は

一、法相訪問の董康氏（向つて左より）小山法
相、董氏、皆川次官



◎故犬養首相の墓に祈る

一 黒岩少尉の父と義兄一

山岸中尉の「問答無用、射て！」の聲に應じて犬養首相に向つて致命的の第一弾を放つた黒岩勇少尉の父百崎利三氏と義兄友田嘉六氏は特に首相の冥福を祈るために十一日犬養首相の墓に詣でた、之に先立つて兩氏は午前十時林辯護士の案内でそぼ降る雨の中を乃木神社を參拜、つゞいて思ひ出も生々しい首相官邸前にしばし自動車を停めて車窓より感慨と心痛の隨を輝かし續いて靖國神社に參拜、故藤井少佐の靈を慰めた。林辯護士に「陸軍の連中はその時チラホラ咲き残つてゐたこの櫻の下に三々伍々集つてあそこの門から出て行つたのですよ」と説明されて兩氏は櫻の木を仰いで無量の追憶に耽り愈々午前十一時廿分青山墓地犬養首相の墓所に立つた

寫眞は

一 犬養氏の墓に額く兩氏



大養氏の墓に額々兩氏

◎故朝香宮妃御喪儀

故朝香宮妃允子内親王殿下の御喪儀は十二日、音羽の杜、豊島ヶ岡に於いて執行遊ばせられた。午前九時白金の御殿御發引、御順路を午前十時十五分文部事務官、外國大公使お^御の裡に御^列刺着、斯くて諸員著床、葬場の儀に移る（詳細記事参照）

寫眞は

一、靈車に移御

二、沿道通御

三、御参列の皇族席、外國使臣、閣僚

四、喪主孚彦王殿下御拜禮

五、秩父宮殿下御拜禮

六、閣僚御拜禮



喪主孚彦王殿下御拜禮



聯合 寫眞 第一一二號

十一月十三日

◎八聖殿開殿式

安達謙藏氏の八聖殿開殿式は十三日午前十時三十分より横濱市中區本牧町八大子なる八聖殿正殿に於て舉行され當日は齋藤首相、荒木陸相を始め朝野の名士約四百名參集、君ヶ代の合唱、安達氏の挨拶に始まり來賓の祝辭があり終つて正午ホテル・ニユーグランドに於て午餐會を開き散會した、聖殿には中央に寶鏡が飾られ、右側に聖德太子、弘法大師、親鸞上人、日蓮上人、左側に釋迦、孔子、ソクラテス、キリストの何れも當代の名工の手に依る八聖の像が祀られてある

寫眞は

一、八聖殿全景

二、安達氏の挨拶



八聖殿開殿式

安達謙藏氏の挨拶



聯合 寫眞 第一號

十一月十四日

◎崇神天皇奉讀祭典

水野鏡太郎氏を會長とする崇神天皇聖德奉讀會では崇神天皇が司牧人神の大詔を煥發された十一月十四日を記念して毎年禮典を行ふことになりその第一回祭典を十四日午後一時から日比谷公會堂で執行、後藤農相、黑板勝美博士、水野會長の記念講演を行つた
寫眞は

一、後藤農相の玉串供進

聯合 寫眞 第二號 八年十一月十四日

◎故上原元帥墓前祭

陸軍の父故上原元帥の墓前祭は十四日午前十時から青山墓地で厳かに執行された、この日午前八時半嗣子七之助氏夫妻、勇次郎氏及び親族知巳等は桐ヶ谷火葬場で哀しみも新たに骨拾ひをし直ちに青山の墓地に向ひ、氷川神社山口大教正の司祭で墓前祭が行はれ令嬢令孫等が墓前にさしそへる手向けの草花も香はしく上原元帥の英靈は同墓地に永への眠りについた

寫寫は

一 故上原元帥墓前祭



聯合 寫眞 第一一二號

十一月十五日

◎海軍首腦親補式

軍事參議官並に鎮守府司令長官艦隊司令長官
親補の御沙汰あらせられ十五日午前九時三十
分宮中鳳凰の間に於いて天皇陛下出御、齋藤
首相侍立の上、小林、野村大將に對し軍事參
議官、末次中將に對し聯合艦隊兼第一艦隊司
令長官、永野中將に對し橫鎮長官、高橋中將
に對し第二艦隊長官、米内中將に對し佐世保
鎮長官の親補式を行はせられた

寫眞は

一、野村新軍事參議官

一、(向つて左より) 小林末次、永野、高橋、
米内の各提督

(於御車寄撮影)



聯合 寫眞 第三號 十一月十五日

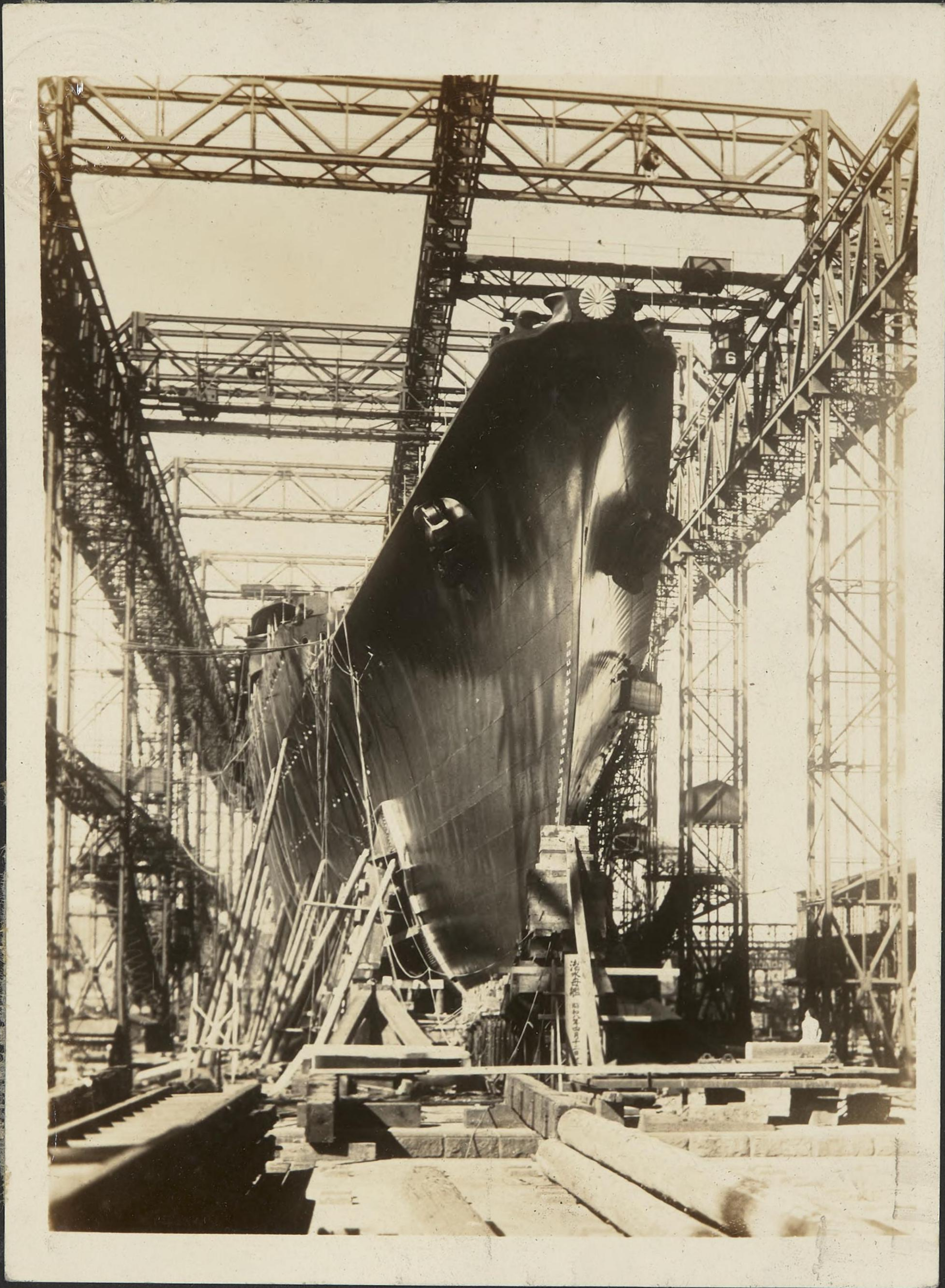
◎世界に誇る「大鯨」

いよいよ十六日進水式

世界に誇る潜水母艦「大鯨」はいよいよ十六日午後二時四十五分横須賀軍港海軍工廠で進水を舉行される、同艦は長さ一九七・三米巾一八・〇四米吃水五・二米基準排水量一萬噸馬力一三〇〇〇馬力速力は英米の精銳艦十六節に比し世界最高の二十節を有し備砲十三纏七四門、高射砲四門、機關銃十二門、昭和八年四月起工以來僅かに七ヶ月の短日月で竣工した

寫眞は

一、大鯨の勇姿（横須賀表檢閲濟）



聯合 海外寫眞ニユース 八年十一月十六日

◎全米艦隊を總動員して
祝福された「米國海軍デー」

(サン・チエゴ―カリフォルニア州)發聯合
去る十月二十七日「米國海軍デー」に折柄大
演習の爲め加州海岸に集中された全米海軍の
主力を以て太平洋上に展開された、その日の
大示威運動の壯觀を寫したものの
寫眞は

- 一 洋上偵察中の米空軍の編隊飛行
- 二 主力艦接護の煙幕を張る驅逐艦隊



米國海軍大演習

主力艦防護の煙幕を張る

駆逐艦隊



聯合 寫真 第一號 八年十一月十七日

◎照宮さま青山郵便局御成り

女子學習院前期二年に御在學中の照宮成子内親王殿下には十七日朝廿五六名の御學友と御一緒に御徒歩で青山郵便局に成らせられ親しく通信事務を御用學遊ばれそれより青物市場に成らせられ正午前御機嫌はしく學習院へ御歸遠遊はされた

寫真は

一、青山郵便局前にて謹寫



聯合 寫眞（號外）

十一月十七日

◎日本料理と踊に満悦

一マルコニ一侯招宴

大倉喜七郎男主催のマルコニ一侯夫妻招待宴は十六日夜七時から芝紅葉館で開かれた、主賓夫妻始め陪賓としてイタリ一大使、三土鐵相、柳川陸軍次官、杉艦政本部長其他朝野の名士百余名出席、大倉男の挨拶、マルコニ一侯の謝辭、三土鐵相の英語挨拶終つて開宴、主賓があぐらで不器用に箸を執りながら日本料理に舌つゝみを打ち、餘興の新橋藝妓の手踊りに大満悦だった

寫眞は

一、満悦のマルコニ一侯夫妻（左端は大倉男）



聯合 寫眞 第一號

十一月十八日

◎非常時警報器開通式

銀行ギヤング五・一五事件等の刺戟から日本橋堀留署管内の銀行、會社、商店では今後に備へるため官民協力、五月以來非常警報器設置同盟會を組織し三事に着手したがこの程完工したので十八日午前十時半から藤沼總監來場、開通式を挙げた、同警報器は管内の日銀正金、三井、三越等から本署への直通ベル四十ヶ所、交番七ヶ所、街頭十ヶ所、スワ事件と云ふ時に出動ベルが一齊に鳴り出し武裝警官が自動車オートバイ各一臺、自轉車十臺で繰出す様に待機し防弾チヨツキ十人分のピストル五十挺、實彈數萬發を常備してゐる

寫眞は

一、藤沼總監と説明の土屋署長



聯合 寫眞 第三號 八年十一月十八日

◎日滿實業協會創立總會

日滿實業協會創立總會は十八日午前十一時東京商工會議所において開催、日本側常議員會議所代表滿洲國側各地商會代表等約百名出席永井拓相臨席、結城豊太郎氏議長席につき中野東商副會頭から創立までの経過報告あり會則決定の後役員選舉に移り會長郷誠之助、副會長結城豊太郎、同稻畑勝太郎、同李明遠同張本政氏等を選任、次いで永井拓相、外相（代理）、商相（代理）、滿洲國公使（代理）の祝辭、滿洲國側代表李明遠氏の挨拶があつて正午散會

寫眞は

一 結城議長の挨拶



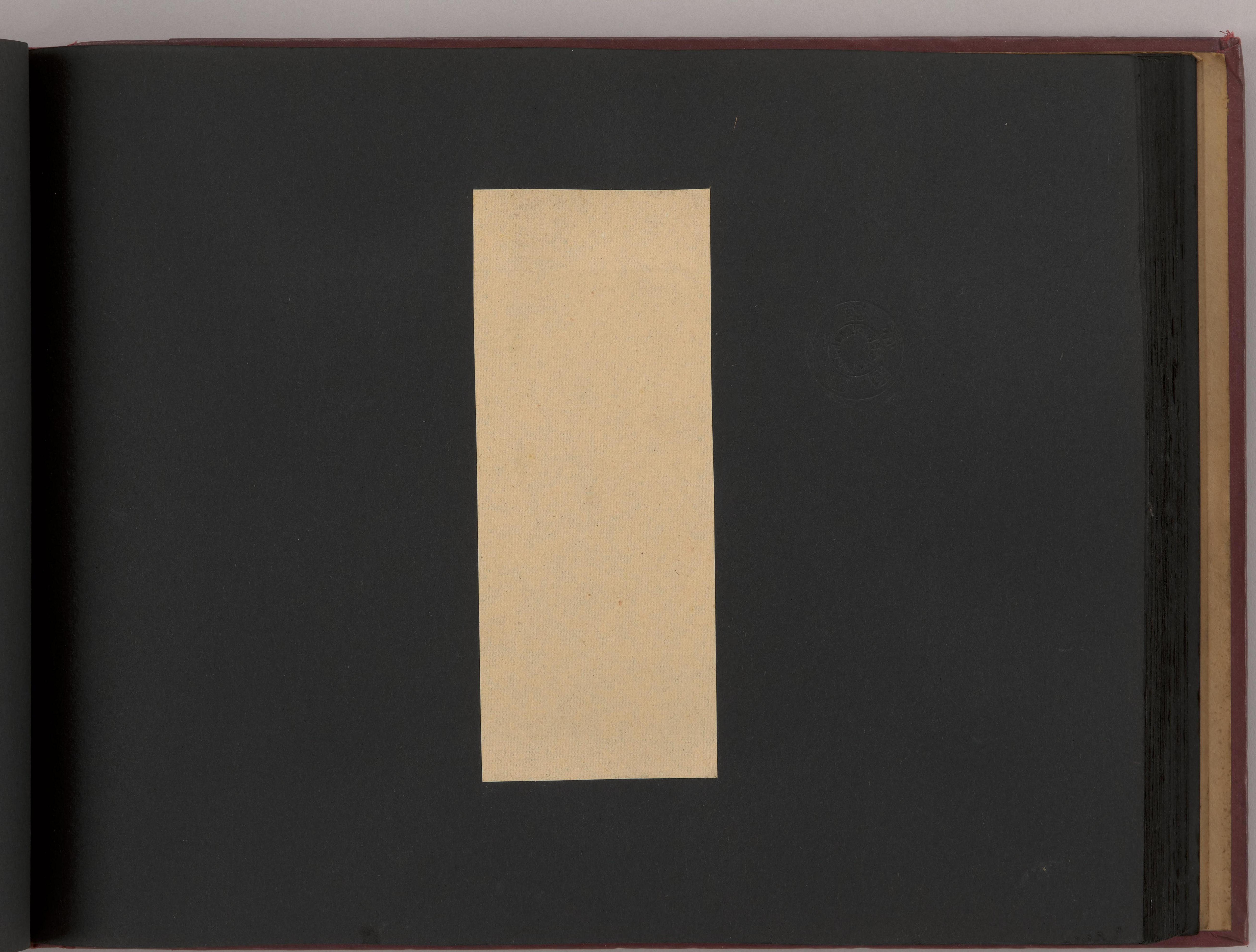
聯合 運動寫眞

十一月十九日

△東京學生聯合劍道大會

東京學生劍道聯合會本年度劍道大會は十九日
午前八時半より陸軍戸山學校道場に於て各校
より選手二百余名參加して催された







聯合 海外寫眞 ニュース 第三一八六―七號

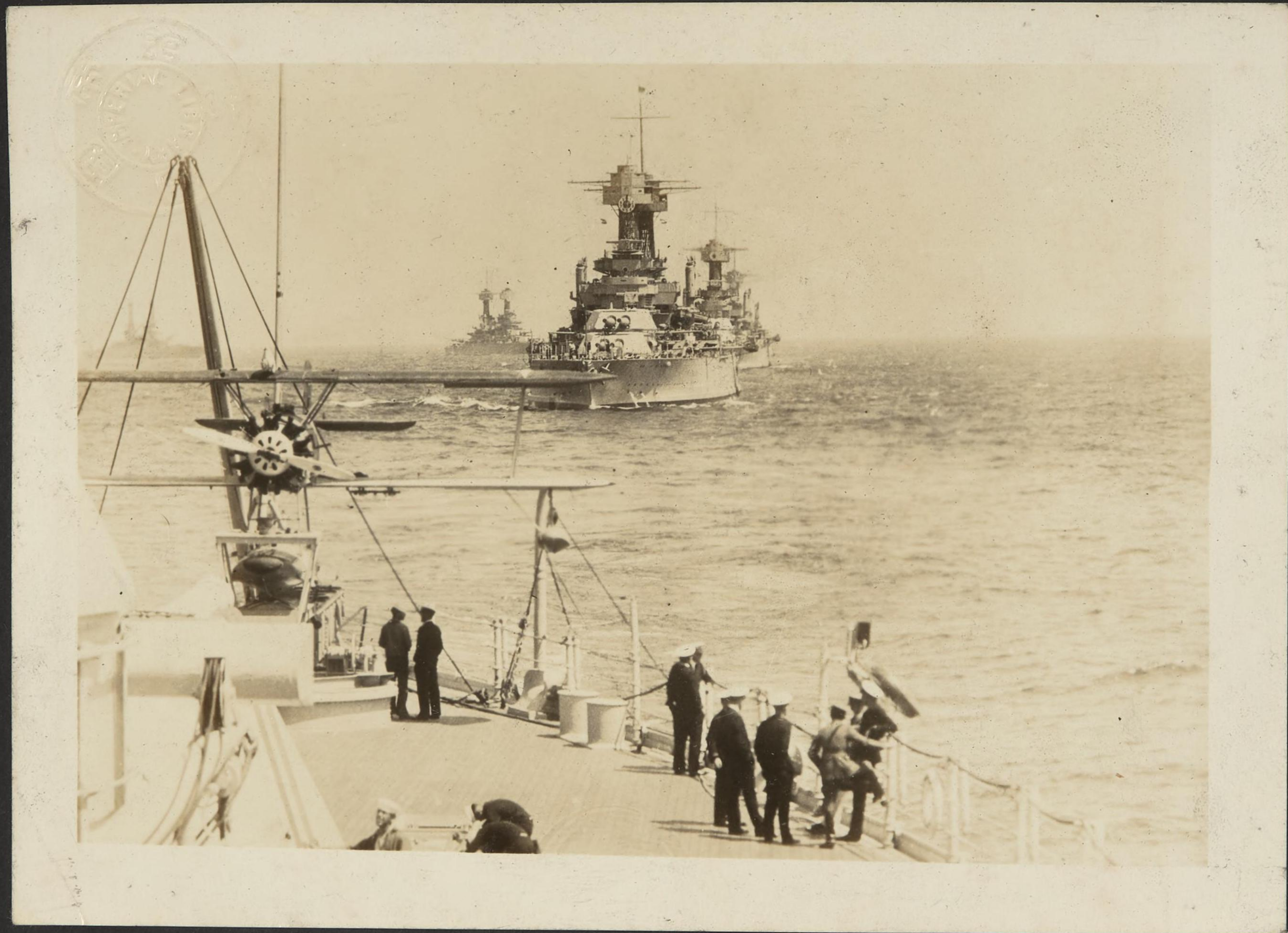
十一月二十日

◎英米の大演習競争

（サン・ペドロ）カリフォルニア州及ロンドン）發聯合

一つは加州沖太平洋上に、他は北海上に、各々勝手な假想敵國を想定してその主力を總動員して破壊の伴はない實戦を大ゲサに行つてゐる、そして人は云ふ「究極的には世界平和の爲めに」といふ？

眞は堂々隊伍を整へて洋上を游スる合衆國艦隊と、偵察驅逐艦を掩護して敵艦搜索に赴く英國空軍の一機



偵察 駆逐 艦を 掩護 する 敵 艦
捜査 に 赴く 英 空 軍 の 一 機



十一月二十一日

◎英京に出来る

豪華版屋内競技場

(ロンドン) 聯合支局發

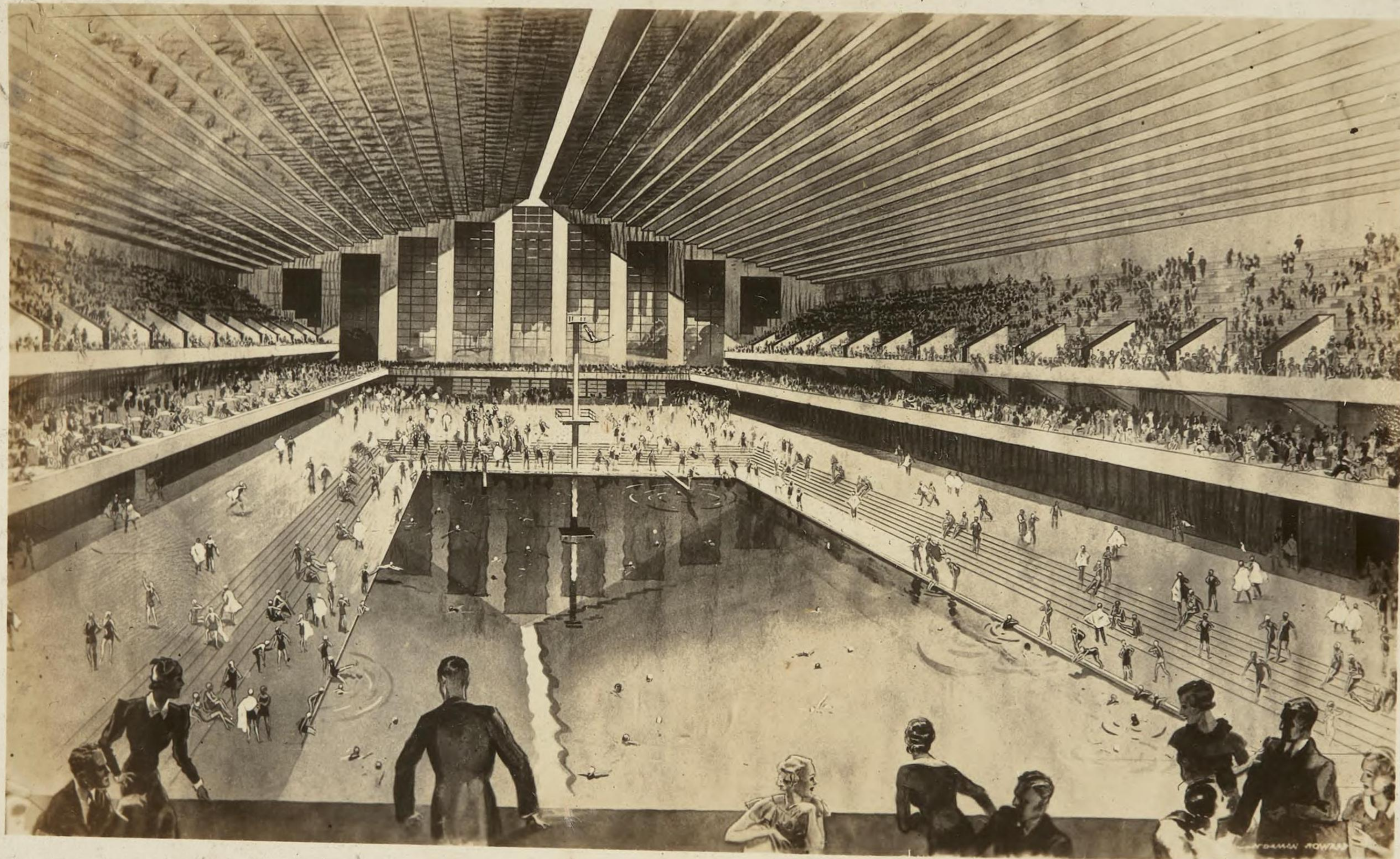
英國スポーツ界のセンター競技場として有名なウエムブレーのエムバイヤ・スタジアムに隣接してこれこそ世界最大の豪華版的屋内競技場として今からその完成が期待されてゐる。エムバイヤ・プール及びその附屬競技場は不況の折柄にも拘はらず四百萬圓の巨費を投じて建築工事が急がれてゐる、全競技場の廣さは四二〇呎×二四呎、プールは二〇〇呎×六〇呎、最深部一六呎、競技場は三〇〇呎×八〇呎と云はれ、アイス・ホッケー、拳闘、水泳、バッドミントン、テニスその他種々の會合及び屋内競技が爲し得る、完成の上は四百萬圓の大屋内競技場としてスポーツ界の人氣を煽るであらう。

寫眞は
同競技場の内外觀



東京に出来る屋内競技場

競技場の内観



聯合 寫眞 第一號 八年十一月廿一日

◎海軍經理學校卒業式

桑折侍從武官御差遣

築地海軍經理學校では廿一日午前十時半より
學生卒業式を舉行、畏き邊りから桑折侍從武
官を差遣はされ校長池邊主計少將より第二十
三期高等科學生九名、第二十二期生徒十五名
第十二期選修學生三名、第十期普通科學生十
五名、第三十期高等科經理術練習生五十四名
にそれぞれ卒業の申渡しあり次で桑折侍從武
官より優等學生に恩賜品を傳達された

寫眞は

一、御下賜品拜受者（向つて左から）南了（
大分縣）高橋南（岩手縣）石井次男（群
馬縣）笠神佐一郎（岩手縣）の諸氏



聯合 寫眞 第二號 十一月廿一日

◎新兵器陳列の「國防館」

！靖國神社境内で上棟式！

國防思想の普及向上のため陸軍で計畫を進めてゐた「國防館」はさきに三谷未亡人の寄付した二十五萬圓によつて既に建築にとりかゝつてゐたが廿一日午前十時半から靖國神社境内國防館建築場で上棟式を擧げた。同館は鐵筋コンクリート二階建、延坪五百坪、館内にあらゆる新兵器を陳列する外映寫室では毎日軍事映畫を映寫し又館内に陳列した新兵器を一般民衆に理解せしめ、^{るため}入場者に自由に操作させ爆撃飛行機の模型を飾り爆彈投下の實際を知らしめる計畫である。

寫眞は

一 國防館上棟式



聯合

寫眞

第一一二號

十一月二十三日

◎ 恵まれぬ「母と子」慰安

首相、文相夫人街頭募金

東京聯合婦人會外都下の各婦人團體一千名は
數班に分れて市内目抜き場所で恵まれぬ母
と子への義金募集をやつた齋藤首相、鳩山夫
人等を始め名流婦人連其他約一千名は朝まだ
き東京府廳に參集、香坂府知事、牛塚市長の
訓示を聞いたのち全員右手を舉げて「母の心
ぞ、今動く」の和唱を爲し夫々部所についた
寫眞は

一 全員和唱

一 白木屋本部前にて（向つて左から）鳩山
文相夫人（一人おいて）守屋女史、齋藤
首相夫人、山田わか女史、吉岡彌生女史





惠未化女(母と子)慰安

全員和唱



聯合 寫眞 第一一二號 八年十一月廿四日

◎ 陸軍士官學校卒業式

― 梨本元帥宮台臨 ―

陸軍士官學校では廿四日午前十時より長き邊りから御差遣の梨本元帥宮殿下の台臨を仰ぎ第十三期少尉候補者百十六名の卒業式を舉行した。殿下には林教育總監を始め參校親勅任官稻垣校長等に拜謁仰付られた後講演場に台臨引續き卒業學生の戰術・測圖作業及び劍術馬術を御覽。一旦御少憩次で卒業證書授興式場に臨ませられ正午近く御歸還あらせられた

寫眞は

一、御台臨の梨本元帥宮

一、勳品拜受者（向つて左より）阿葉家歩兵

特務曹長（岐阜）山畑歩兵曹長（鹿兒島）

手島騎兵特務曹長（福岡）久保砲兵曹長

（和歌山）渡邊砲兵曹長（静岡）増田工

兵特務曹長（茨城）秋田航空兵曹長（愛

知）森本輜重兵特務曹長（静岡）

1000



陸軍士官学校卒業式

清台臨の梨本元帥宮